

日水研でさけますの調査技術の普及を開始

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産総合研究センター 公開日: 2024-06-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 平間, 美信 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2006424

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



日水研でさけますの調査・技術の普及を開始

日本海区水産研究所調査普及課 平間 美信

はじめに

平成18年4月に行われた水産総合研究センターとさけ・ます資源管理センターとの統合に伴い、日本海区水産研究所業務推進部にさけます類に関する業務を担う部署として調査普及課が設置された。当研究所が担当する地域は、本州北部の日本海に面する秋田県・山形県・新潟県・富山県・石川県の5県であり、新潟県三面川や山形県月光川の「種川制」にみられるように、サケ資源の保護培養には歴史のある土地として知られている。近年では、39河川、59ふ化場においてさけますふ化放流事業が行われ、サケは毎年1億4 - 5千万尾の稚魚が放流され、50 - 100万尾の親魚が回帰している。また、北海道での日本海沿岸と同様、本州の中ではサクラマスのか化放流事業に力を入れている地域でもある。

業務の概要

我々が行っている業務の内容は、「さけますに関する調査と成果・技術の普及」であり、ふ化放流や来遊資源について、その評価のための調査やデータ収集を行う生物モニタリング調査(図1)。

さけます資源の維持安定のための効率的・効果的な増殖技術の普及(図2)、さけますふ化放流技術者の養成や技術向上のための技術講習会の開催(図3)が挙げられるが、この他にも、増殖実施団体からの委託業務やプロジェクト研究への参画等、当地域のさけますに関する業務に幅広く取り組んでいる。

次に、これらの業務の中からプロジェクト研究と一般公開について簡単に説明する。

プロジェクト研究(サクラマス)

サクラマスは当地域をはじめとする北日本の沿岸漁業、内水面漁業、さらに遊漁において重要な魚種の一つだが、近年その資源量は減少し続けている。そこで「本州日本海域のサクラマス資源の再生」を目指し、平成18年度はプロジェクト研究の事前調査として、山形県、富山県、さけますセンター等とともに最上川、神通川でサクラマス生息環境や生態の調査を実施した(図4)。



図1 個体群の特性を把握し来遊資源の評価のための基礎資料とするため繁殖形質調査を実施(サケ親魚の一尾当たりの卵数を計測中)



図2 各地のか化場において施設の問題点や立地条件に適した管理方法について技術の普及を実施(五十川の山戸か化場において飼育管理方法について助言しているところ)



図3 民間か化場従事者を参集し、基本的な増殖技術の普及と調査・研究から得られた知見の普及を目的に技術講習会を開催(月光川の箕輪か化場において採卵実習を行っているところ)

平成19年度からはプロジェクト研究「河川の適正利用による本州日本海域サクラマス資源管理技術の開発」を水産総合研究センター（北水研，中央水研，さけますセンター，日水研），山形県，富山県と新たに秋田県も加わり3年間で実施する。

その中で我々は，溯上親魚の減耗実態の把握と保全技術の開発に向け，今年度はサクラマス親魚の溯上行動や越夏場所の特定とその環境条件を把握するために，秋田・山形・富山県の各県で1河川を選定し，潜水調査や環境データの採集を実施する。

一般公開

日本海区水産研究所では，研究の内容や成果を広く一般の人たちにも理解してもらうために毎年研究所の一般公開を開催している。昨年度も9月30日に「のぞいてみよう魚たちの暮らし」をテーマに開催し，各部署で体験・展示コーナーを開設した。

我々調査普及課も，さけます類の担当として参加し，パネル展示では，一般には目にする機会の少ないサケの生態やふ化放流事業，調査内容などについて紹介した。プロジェクトを使用したサケの解説やサケクイズは，楽しみながらサケについて知ることができ，子供たちを中心に好評を得た。鮭の下ろし方やイクラの作り方などを課長自ら包丁を握って実演した「鮭の解体」は，食卓につながる身近さと，その一方で普段見ることの少ない丸1尾のサケの物珍しさに，大人から子供まで多くの人が見学した。

また，来場者との懇談の場「おさかなカフェ」では，お茶を飲みながらのざっくばらんな話の中で，生態から食べ方までサケのいろいろな疑問や質問があり，改めてさけます類に対する関心の高さやその生態の不思議さを認識し，我々にとっても良い経験となった（図5，6）。

おわりに

当研究所でのさけますに関する業務は始まったばかりである。本州日本海におけるさけます資源の回復と造成，安定維持に向けて一つ一つ成果を積み上げるため，基礎的な調査や技術普及等の業務を推進して行く所存であり，関係各機関のご協力をお願いしたい。

調査普及課連絡先

電話 025-228-0529 Fax 025-224-0955



図4 プロジェクト研究の一環として，対象河川においてサクラマスの生息環境や生態を調査

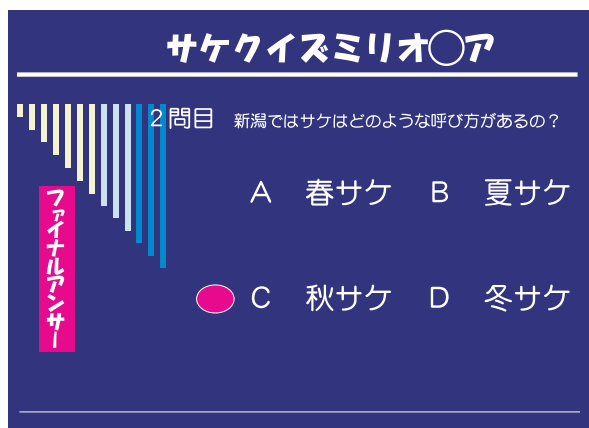


図5 子供を対象にしたサケクイズミリオア（一般公開）



図6 一般公開で開設したさけます類に関する展示コーナー（おさかなカフェで来訪者との懇談）